



第98期 中間株主通信

平成22年1月1日から
平成22年6月30日まで



TOAGOSEI

東亜合成株式会社

証券コード 4045

- 01 暮らしの中の
東亜合成グループ
- 03 株主の皆様へ
- 05 財務ハイライト
- 09 トピックス

裏表紙のアンケートにご協力ください!
抽選で当社2011年カレンダープレゼント!!

暮らしの中の東亜合成グループ

毎日の生活の中にはさまざまな
東亜合成グループの製品が使用されています。

接着剤

ICカードに接着剤が使われています。



高分子凝集剤

污水処理場での污水処理に高分子凝集剤が使われています。



塩化ビニル製マンホールふた

密閉ふた、格子ふたなどさまざまな種類をラインアップしています。



「クリアウォール®」

建物の塗膜防水剤として建物の保護や安全・長寿命化に役立っています。



アクリル酸エステル

アクリル酸エステルは粘着剤の原料にもなります。



高純度製品、工業用ガス

シリコンウエハー、半導体の製造に高純度製品、工業用ガスが使われています。



苛性ソーダ

苛性ソーダは紙の製造工程でも使われています。



銀系無機抗菌剤

快適で清潔な暮らしに応える銀系無機抗菌剤「ノバロン」



光硬化型樹脂「アロニックス®」

液晶テレビの部品、DVDの製造、携帯電話の表面コーティングなどに「アロニックス®」が使われています。



「アロンアルファ®」

瞬間接着剤の代名詞、世界で人気の「アロンアルファ®」



塩化ビニル製小口径マス

下水道の整備に塩化ビニル製小口径マスが使われています。



介護用品

アロン化成は、「安寿」ブランドでポータブルトイレ、入浴用いすなどの介護製品を提供しています。



アクリル酸エステル

アクリル酸エステルはアクリル塗料の主原料です。

当社グループ製品のご紹介

銀系無機抗菌剤「ノバロン」



無機系という特長を生かし、繊維、樹脂等への練りこみが可能であることから、マスクなどいろいろな用途に使用されています。SARSウイルス、新型インフルエンザウイルスにも効果があらることが実証されています。

エクササイズステップ



アロン化成が足腰の衰えを予防したい方や歩行能力を改善したい方のために開発した踏み台昇降運動用の台です。体力に合わせて簡単に高さを細かく調整でき、ひざへの負担が軽減される作りになっています。



中期経営計画「オール東亞2010」の仕上げの年として、次の飛躍に向けた布石を確実に打ち、将来ビジョンを達成するための基盤を確固たるものとしてまいります。

代表取締役社長
橋本 太

Q 当第2四半期連結累計期間の概況についてお聞かせください。

A. 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が着実に持ち直し、設備投資も下げ止まりの傾向が見られました。

このような状況のもとで当社グループは、需要の堅調な回復に支えられ、順調に売上を伸ばすことができました。同時に継続的なコスト削減や業務の効率化にも取り組み、収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は758億5千3百万円(前年同期比16.8%増収)、営業利益は101億1千8百万円(前年同期比266.4%増益)、経常利益は100億1千7百万円(前年同期比236.8%増益)、四半期純利益は、55億8千8百万円(前年同期比62億9千2百万円増益)となりました。

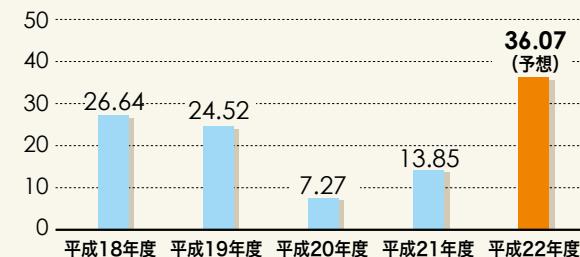
Q 通期の見通しについてお聞かせください。

A. 当下半期(7月から12月まで)につきましては、市場環境の変化や原燃料価格の動向など、不透明感は増すものと考えており、平成22年12月期通期の業績につきましては、売上高は1,538億円(前期比9.8%増収)、営業利益は178億円(前期比59.5%増益)、経常利益は178億円(前期比54.3%増益)、当期純利益は91億円(前期比157.0%増益)を予想しております。第2四半期累計期間までの好調に油断することなく、業績の向上に努める所存です。

また、昨年、自己株式の取得を実施したこともあり、1株当たり当期純利益(EPS)は、過去5年で最高の36円7銭を予想しております。

1株当たり当期純利益(EPS)の推移

(単位:円)



Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A. 東亜合成グループは、「技術力を背景に、基礎化学品、アクリル製品、機能製品、樹脂加工製品の各事業領域において特色ある高機能製品を継続的に生み出すとともに、新製品・新事業を創出し成長を続ける価値創造型高収益企業グループ」を2013年のオール東亜の企業ビジョンとして掲げております。

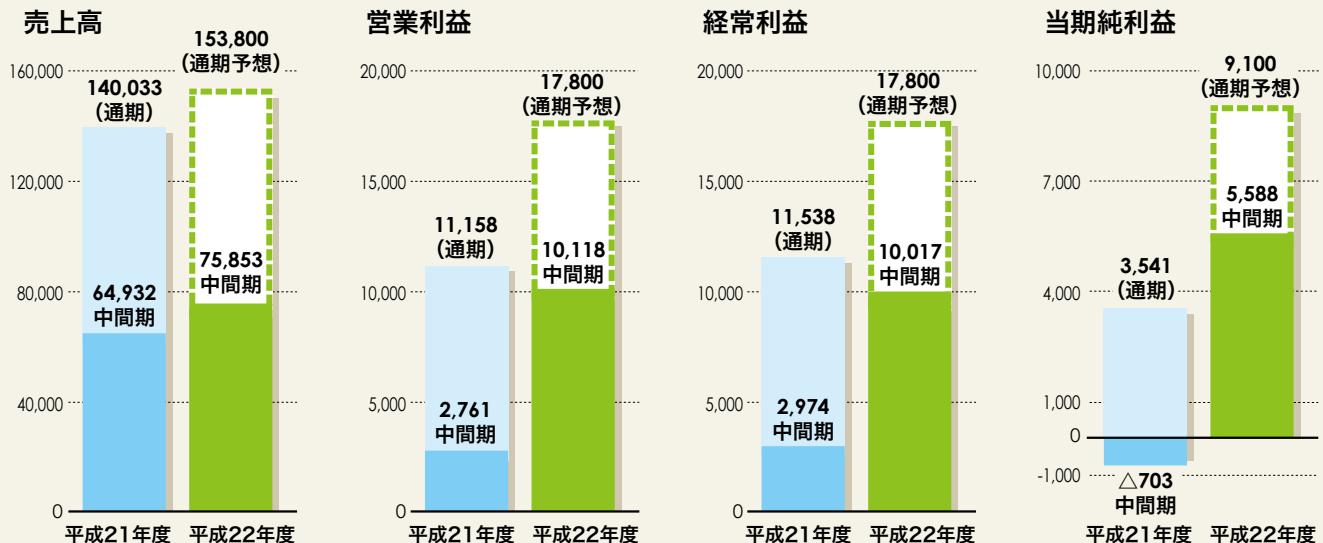
当期は、その前段階である中期経営計画「オール東亜2010」の仕上げの年として、次の飛躍に向けた布石を確実に打ち、将来ビジョンを達成するための基盤を確固たるものとしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

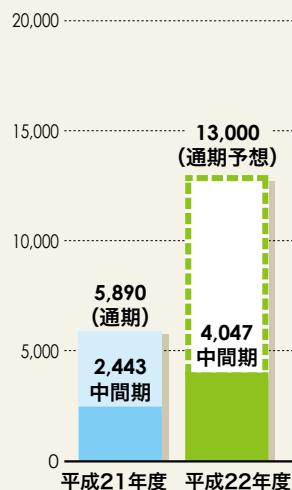
連結財務ハイライト・セグメント別概況

平成22年度中間期(連結)

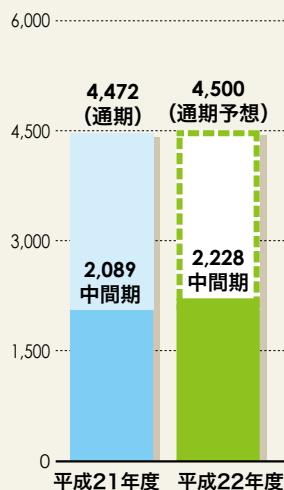
(単位:百万円)



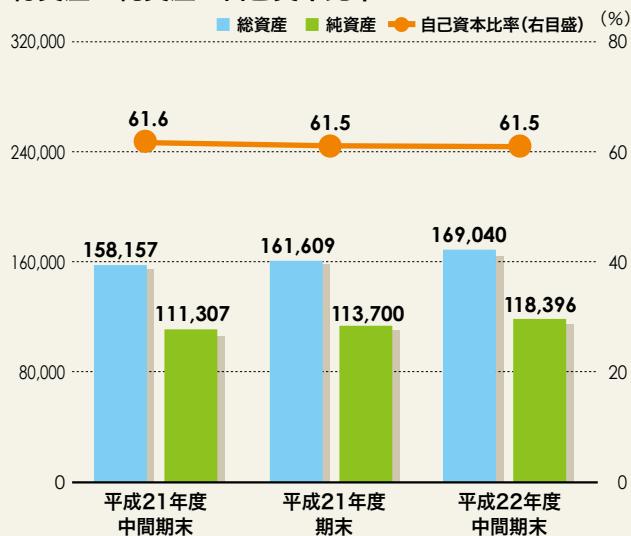
設備投資額



研究開発費



総資産・純資産・自己資本比率



セグメント別業績概要

樹脂加工製品事業

エラストマーコンパウンド、介護・福祉関連製品は、堅調な出荷により増収となりました。管工機材製品は減収となりました。これらの結果、売上高は133億6千7百万円(前年同期比4.7%減収)、営業利益は6億9千2百万円(前年同期比8.4%減益)となりました。

接着剤は、主に電子材料、自動車分野向け工業用接着剤の出荷が好調に推移し、大幅な増収となりました。建築・土木製品は、建築補修用途の需要が増加し、増収となりました。開発製品は、シリコン系高純度ガス、無機イオン交換体など電子材料分野向け製品の出荷が堅調に推移した結果、大幅な増収となりました。これらの結果、売上高は84億2千2百万円(前年同期比20.9%増収)、営業利益は18億6千2百万円(前年同期比102.1%増益)となりました。

機能製品事業

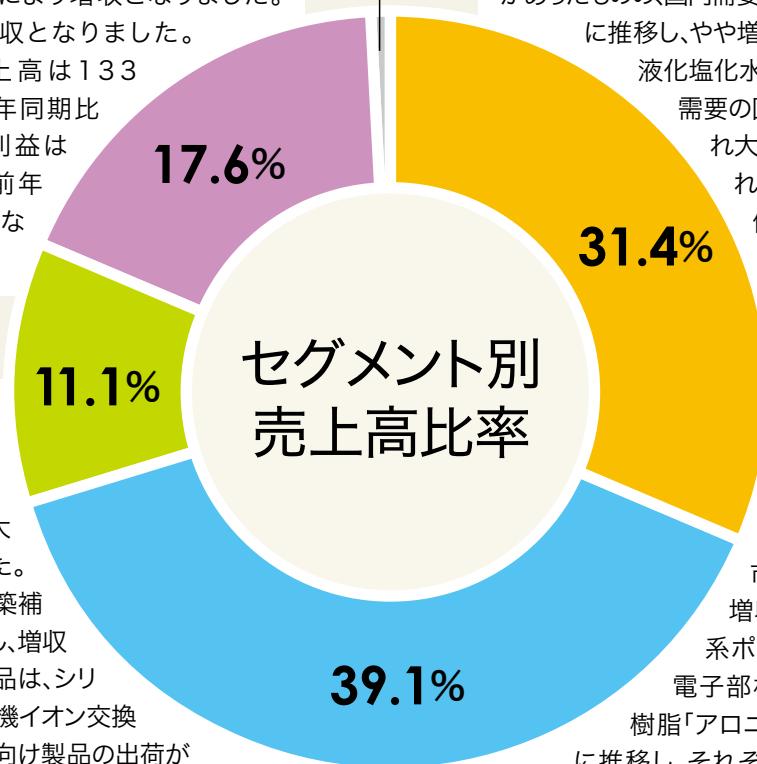
その他の事業
0.8%

基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、販売価格の下落があったものの、国内需要の回復により出荷が堅調に推移し、やや増収となりました。銅製品、液化塩化水素、工業ガスについても、需要の回復・増加に伴い、それぞれ大幅な増収となりました。これらの結果、売上高は238億3千3百万円(前年同期比10.3%増収)、営業利益は35億8千5百万円(前年同期比273.3%増益)となりました。

アクリル酸エステルは、国内・国外の需要回復、市況改善により、大幅な増収となりました。アクリル系ポリマー、高分子凝集剤、電子部品分野向けの光硬化型樹脂「アロニックス」は、出荷が好調に推移し、それぞれ大幅な増収となりました。これらの結果、売上高は296億3千8百万円(前年同期比38.1%増収)、営業利益は41億8千7百万円(前年同期比38億2千9百万円増益)となりました。

アクリル製品事業



※第1四半期連結会計期間において組織変更を実施し、建築・土木製品を「アクリル製品事業」から「機能製品事業」に、光硬化型樹脂を「機能製品事業」から「アクリル製品事業」にそれぞれ事業区分を変更しました。

四半期連結財務諸表（要旨）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産	82,313	75,035
現金および預金	19,647	12,778
受取手形および売掛金	44,649	44,019
たな卸資産	15,846	15,862
その他	2,169	2,374
固定資産	86,727	86,574
有形固定資産	61,298	60,273
建物および構築物	18,694	18,891
機械装置および運搬具	18,155	19,294
工具、器具および備品	2,256	2,462
土地	18,048	18,050
その他	4,142	1,575
無形固定資産	1,545	1,828
のれん	403	565
リース資産	11	12
その他	1,130	1,250
投資その他の資産	23,883	24,472
投資有価証券	13,696	13,995
その他	10,186	10,477
資産合計	169,040	161,609

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債	34,936	32,097
支払手形および買掛金	15,851	16,786
短期借入金	5,814	5,588
その他	13,270	9,723
固定負債	15,707	15,811
長期借入金	9,732	10,140
退職給付引当金	557	568
その他	5,417	5,102
負債合計	50,643	47,909
純資産の部		
株主資本	103,507	98,704
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,087	15,086
利益剰余金	70,470	65,638
自己株式	△2,937	△2,907
評価・換算差額等	464	744
少数株主持分	14,424	14,250
純資産合計	118,396	113,700
負債・純資産合計	169,040	161,609

■ 流動資産

823億1千3百万円

「現金および預金」の増加などにより、流動資産は前連結会計年度末に比べ72億7千7百万円増加し、823億1千3百万円となりました。

■ 純資産合計

1,183億9千6百万円

「利益剰余金」の増加により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ46億9千6百万円増加し、1,183億9千6百万円となりました。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
売上高	75,853	64,932
売上原価	51,345	48,478
販売費および一般管理費	14,389	13,692
営業利益	10,118	2,761
営業外収益	606	722
営業外費用	707	509
経常利益	10,017	2,974
特別利益	14	61
特別損失	359	2,701
税金等調整前四半期純利益	9,672	334
法人税等	3,722	692
少数株主利益	360	345
四半期純利益(△損失)	5,588	△703

■ 営業利益

101 億 1 千 8 百万円

需要の回復を背景に、出荷が堅調に推移した結果、営業利益は前年同期に比べ73億5千6百万円増加し、101億1千8百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	13,867	13,299
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,766	△3,166
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,132	△11,166
現金および現金同等物に 係る換算差額	△103	73
現金および現金同等物の 増減額	6,864	△959
現金および現金同等物の 期首残高	12,387	9,826
現金および現金同等物の 四半期末残高	19,252	8,866

■ 投資活動による キャッシュ・フロー △57 億 6 千 6 百万円

有形固定資産の取得による支出が増加したため、投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が25億9千9百万円増加し、57億6千6百万円の支出となりました。

配当について

利益配分につきましては、当期の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、1株当たり年間6円を安定配当の標準とし、株主の皆様へ安定的な利益還元を努めることを基本方針としております。当中間期における配当は1株当たり3円50銭とし、年間7円の配当を予定しております。

(単位:円)



MTエチレンカーボネート株式会社を設立

2010年6月、当社と三井化学株式会社は、リチウムイオン電池用原料であるエチレンカーボネート（以下、EC）を製造する合併会社、MTエチレンカーボネート株式会社を設立しました。製造設備を三井化学大阪工場敷地内に設置し、三井化学大阪工場からECの原料であるエチレンオキシドの供給を受け、東亜合成の独自技術によりECの製造を行います。当社名古屋工場に加え、グループで2つ目のEC製造拠点となります。

ECは、リチウムイオン二次電池（以下、LiB）用電解液の主要原料です。LiBは、従来のパソコン、携帯電話な

ど小型電池用途に加え、電気自動車、プラグイン自動車、ハイブリッド自動車の普及とともに世界的な需要拡大が見込まれています。これに伴う平成24年以降のEC需要の急拡大に対応するため、平成23年秋の本格生産開始を目指しています。

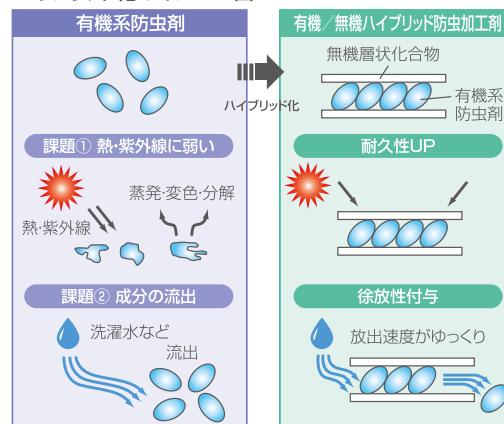


有機／無機ハイブリッド防虫加工剤「ナインセクト® MC-150」発売開始

防虫剤は衣類の虫食い防止、虫よけスプレーなど、生活のさまざまな場面で使用されますが、主に耐熱性と持続性に問題があり、プラスチックに加工された例はほとんどありませんでした。

当社は、ハイブリッド化技術により従来の防虫剤の持つ欠点を改良し、プラスチックへの加工を可能とした、有機／無機ハイブリッド型の防虫加工剤「ナインセクト® MC-150」の販売を開始しました。無機層状化合物の層間に有機系防虫剤を担持させることにより、有機系防虫剤にない耐熱性、耐久性、徐放性※などの機能を持たせてありますので、繊維や日用品、カーペットなどのハウジング用品や家電製品などへの使用が期待されます。

ハイブリッド化のイメージ図



※徐放性：物質中成分の放出を遅くすることによって、その有効成分の濃度を一定に保つ作用

会社概要

本店所在地／東京都港区西新橋一丁目14番1号(〒105-8419)

電話 東京(03)3597-7215(代表)

設立／昭和17年3月31日

資本金／20,886百万円

従業員／連結2,557名

単独864名

取締役および監査役

代表取締役会長	山寺	炳彦
代表取締役社長	橋本	太彦
取締役	有澤	章夫
取締役	山田	勝敏
取締役	野村	聡一
取締役	小関	健一
取締役	高村	美己志
取締役(社外)	滝澤	英一
監査役(常勤)	滝	寛男
監査役(社外)	佐藤	勝男
監査役	幡谷	宣男
監査役(社外)	三浦	良二

株式の状況

発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	23,796名

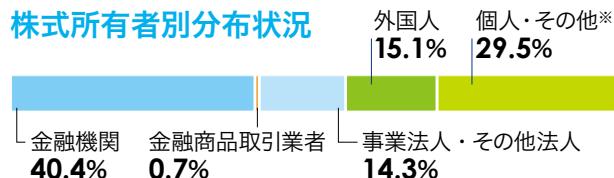
大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,336	8.06
株式会社三井住友銀行	11,636	4.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,006	4.36
東亜合成取引先持株会	6,633	2.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.24
東亜合成グループ社員持株会	5,588	2.21
東京海上日動火災保険株式会社	5,300	2.10
あいおい損害保険株式会社	5,000	1.98
農林中央金庫	3,944	1.56
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールディ アイエスジー エフイーエイシー	3,687	1.46

当社は、自己株式11,678,333株を保有しておりますが、上記大株主の状況からは除いております。

また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

東亜合成グループの主な関係会社

セグメント別	主な関係会社
基礎化学品事業	鶴見曹達(株)、東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株)
アクリル製品事業	大分ケミカル(株)、日本純薬(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亜迪愛生化学有限公司
機能製品事業	トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロンエバークリップ・リミテッド、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー、東亜建装(株)、MTエチレンカーボネート(株)
樹脂加工製品事業	アロン化成(株)、ミクニプラスチック(株)
その他の事業	(株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエ(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株)

株主メモ

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会……… 毎年3月に開催
- 基準日 ……………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法 ……………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL
(<http://www.toagosei.co.jp/>)

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社の電話およびインターネットで24時間お受けしております。

■手続用紙受付専用フリーダイヤル(自動音声) 0120-87-2031

■ホームページアドレス

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

・口座振替申請書 ・単元未満株式買取請求書

・配当金振込指定書(特別口座用) ・変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証で配当金をお受取りの株主様につきましても、本年から配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。

予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。

- 株主名簿管理人…東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先……〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-78-2031** (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

株主アンケート

アンケート実施期間 **平成22年9月30日まで**

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。
なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

株式会社アイ・アール ジャパン

株主ひろば事務局 E-mail: inquiry@kabuhiro.jp

アンケートサイト(画面)への接続方法

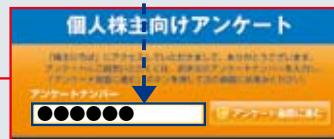
Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば URL <http://kabuhiro.jp>

ご回答方法

アンケートサイト(www.kabuhiro.jp)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

アンケートナンバーにつきましては株主の皆様にお送りいたしました株主通信(冊子)をご覧ください。



抽選で**100**名様に当社2011年カレンダー
プレゼント
(当選は発送をもって代えさせていただきます)